

会合名・開催日・会場など  
関連する情報を挿入してください。

SOM2017-05

## 第18回 自己組織化マップ研究会2017の 論文原稿の書き方について

### How to submit the papers of 18th Annual Meeting of Self-Organizing Maps in JAPAN 2017

講演番号を  
記入してください。

○梨本 太郎 鳥取大学大学院工学研究科 (TaroNashimoto@xxx.tottori-u.ac.jp)  
Nashimoto Taro, Tottori University,

湖山 めだか 自己組織化マップ研究所 (MedakaKoyama@xxx.tottori-u.ac.jp)  
Koyama Medaka, Self-Organizing Maps Research Center

2017年3月21日 (March 21st, 2017)

**Abstract :** This is an example of the paper of 18th Annual Meeting of Self-Organizing Maps in JAPAN 2017. Please refer to the items listed below, and prepare the paper you want to submit. Thank you very much for your cooperation in advance.

#### 1. はじめに

この文書は、自己組織化マップ研究会用の論文原稿について、その書式のガイドライン<sup>†</sup>を示したものです。この書式とは完全に一致していなくても、下記の事項を守ったものであれば構いません。

#### 2. 論文の作成要領

第13回(2012年)から編集作業省力化のため、提出していただいた論文原稿は、そのまま取り纏めて電子ファイルにしております。つきましては、論文原稿の作成の際には、下記の事項に注意してください。ご協力をお願いいたします。

- i). A4用紙(縦297mm, 横210mm)を使用する。
- ii). 用紙の左右上下の余白は20mm程度空ける。
- iii). 最大6ページとする。
- iv). 本文は10ポイント以上のフォントを使用する。
- v). 段組みは自由ですが、読みやすいように配慮してください。
- vi). 講演題目(日本語、英語の順に)、著者(講演者は左側に○をつける)、所属、オプションで連絡先(電子メール)を第1ページの先頭に記述する。必ず英文を併記してください。日付は、無くても構いませんが、入れる場合は「2017年3月21日」でお願いします。英文アブストラクトも、準備していただくと助かります。

vii). 申込締切後に公開されるプログラムを確認し、講演題目の横に講演番号「SOM2017-xx」を挿入してください。「xx」の部分については、10番以下であれば0を挿入して、例えば「SOM2017-05」とします。

viii). 各ページの最下段中央へ、発表順序(何件目か)と原稿のページ数に応じて、例えば「5-2」と入れてください。

ix). 各論文原稿の第1ページの最上段に左寄せで、会合名・開催日・会場などに関する情報を挿入してください。この文書が作成例となっていますので、確認してください。

x). PDF形式のファイルを作成し、論文集担当者宛(佐賀大学 堂蘭浩:som2015submit@gmail.com)に添付メールとして送付してください。ただし、過度にファイルサイズが大きい場合はトラブルの原因となりますので、配慮していただければ幸いです。

論文提出期限は2017年3月3日(金)までに必着とします。もし遅れる場合は、事前にご連絡いただくと助かります。

送付先:som2015submit@gmail.com

**【重要】**過去に開設したGmailアカウントを再利用するため、アドレスは「som2015」です。ご注意ください。

#### 3. 図、表、式について

図、表、式には、出てきた順番に応じて、それぞれ通し番号を付けてください。また、図や表の中の数字な

<sup>†</sup>編集作業省力化のため、第12回(2011年)と比較して、いくつかの大きな変更点があります。具体的には、下線部\_\_\_\_が該当しますので、論文原稿の作成に当たっては、十分にご注意ください。

どは、その文字サイズにも注意を払ってください。いずれも鮮明で読めれば結構です。

図1は、ある実験データ2系統をX-Yプロットしたものです。図を掲載する場合は、この例を参考にしてください。また表を掲載する場合も、これに準じて作成していただければ助かります。

#### 4. 論文集と電子メディア

電子メールに添付して提出していただいた研究会用の論文原稿は、そのまま取り纏めて論文集（電子ファイル）とします。なおPDF形式をご利用いただきますが、特殊なフォントをご使用の場合には、必ずそれらのフォントを埋め込んでください。埋め込みが適切に行われていないときには、一部のフォントが文字化けすることも考えられますので、特に注意してください。また、用紙サイズにA4以外（例えばLetter）をご指定の場合、思わぬトラブルが発生する可能性がありますので、必ずA4であることを確認の上、PDFファイルを作成してください。

#### 5. 問い合わせ先

何か不明な点などがありましたら、「第18回SOM研究会実行委員会」（som-meeting@googlegroups.com）宛に電子メールでお問い合わせください。

##### 【第18回SOM研究会実行委員会】

実行委員長 市村 匠（県立広島大学）  
実行副委員長 和久屋 寛（佐賀大学）  
実行委員 徳高平蔵（SOM ジャパン）  
大北正昭（SOM ジャパン）  
松田充夫（豊田工業高等専門学校）  
大藪又茂（金沢工業大学）  
加藤 聡（松江工業高等専門学校）  
藤村喜久郎（鳥取大学）  
堂菌 浩（佐賀大学）  
堀尾恵一（九州工業大学）  
松田正文（神戸常盤大学）  
笠井智成（岡山大学）

E-mail som-meeting@googlegroups.com

<http://app6.ele.tottori-u.ac.jp/SOM-Meeting/2017/>

#### 参考文献

- [1] 野寺隆志, “楽々 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X,” 共立出版, 東京, 1990.
- [2] 野寺隆志, “楽々 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 第2版,” 共立出版, 東京, 1994.
- [3] レスリー・ランポート, “文書処理システム L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X,” アスキー出版局, 東京, 1990.
- [4] H. Kopka and P.W. Daly, “A Guide to L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X,” Addison-Wesley, Wokingham, 1993.

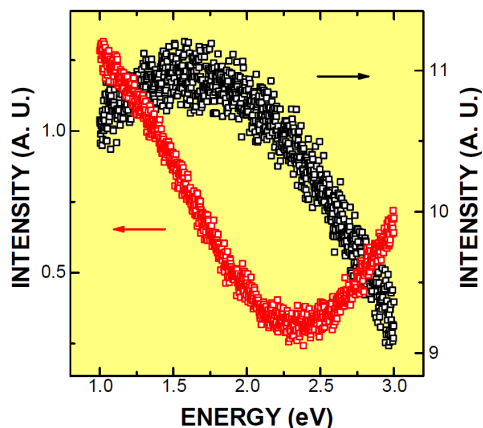


図 1. 図の例 —あるグラフ—